

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日〜25日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉は知っていますか?という人も多いと思います。DVとは「配偶者や恋人など、親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力」のことです。

DVというと「殴る」「蹴る」といった身体的暴力を連想しがちですが、他にも精神的DV、経済的DV、性的DVなどがあり、単独で起きることもあれば、複合的に起きることもあります。

内閣府のDV相談プラスの報告で最も多かった相談は、人格否定を繰り返す、無視する、大声で怒鳴るなどの「精神的DV」で、64.8%を占めています。例えば日常生活で一方的なルール(毎日1時間のマッサージ、買い物は1時間以内でしーシート提出など)を押し付け、できないと「こっちは上だろ、立場分

かってんのか」と威圧的な言動をされたり、人格を否定されたりするといった相談が多くみられました。

周りの人に相談しても関係改善や我慢を求められたり、逆に説教を受けたりして、問題解決に至らないとの声もありました。「お前はダメだ。一人じゃ何もできない」と言われ続け、「自分の努力が足りない。自分の責任だ」と自分に原因があるように思いこまされて、本人もDVだと認識しづらく、周囲からも理解されず孤立化し、「コントロールされ、支配されてしまいます。長い間行われると、被害者に継続的なストレスを与え続け、心身がむしばまれてしまいます。

また、DVが起きている家庭では、子どもへの虐待が同時に行われている場合があります。子どもが直接暴力を受けている場合は当然ですが、子どもの見ている前で、夫婦間で暴力を振るうこと(面前DV)は、子どもへの心理的虐待にあたります。DVは子どもの成長にとって大切な安心・安全を根底から壊し、子どもの心と体にさまざまな悪影響を与えます。

「問い合わせ先」人権啓発・男女共同参画推進課 ☎0968(25)7209

女性に対する暴力の背景には、女性の人権に対する軽視や社会的・経済的な男性の優位性、女性を従属的な立場と捉える意識があるのではないのでしょうか。

女性も良き妻、良き母でなければならぬ、家事や育児は女性が担うものという、性別役割分担意識や無意識の偏見に縛られているのではないのでしょうか。あなたは相手といっていると、怖く感じたり緊張したりしていませんか。一人で悩まず、ご相談ください。

配偶者・交際相手からの暴力 内閣府 DV相談ナビ #8008 性犯罪・性暴力 内閣府 性暴力に関するSNS相談「Cure time」 #8891 内閣府 被害者のためのワンストップ支援センター #8103

◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 ⑩

【問い合わせ先】菊池プロモーション室 ☎0968(25)7267

◆久留米市

筑後川とともに久留米市のシンボルとも言える高良山。耳納山地の最西端に所在する標高312.2mの山です。筑紫平野を一望できるこの山には、筑後国一ノ宮の高良大社が鎮座し、今も崇敬を集めています。

また、高良山は九州の南北・東西を結ぶ水陸交通の要所を押さえる位置にあり、古代から神籠石が設けられるなど、軍事拠点としても重要な場所でした。1359年、懐良親王や菊池

武光らは、征西府を高良山へ進め、筑後川を挟んで少弐氏と対して、大保原の合戦を戦います。その2年後の1361年には遂に大宰府へ進出し、九州を制覇しました。

ところが、1372年に征西府は九州探題として派遣された今川了俊の反撃を受け、大宰府から高良山へ撤退することとなります。南朝方はその後約2年間、高良山を征西府として北朝方と戦いました。その間に武光・武政父子が相次ぎ急逝し、主力

の菊池勢当主に弱冠12歳の武朝が就く事態となった南朝方は、筑後川対岸に北朝方が迫る状況を見て、ついに高良山を放棄し、菊池の本城へ撤退しました。

慎重な了俊は約1カ月もかけて状勢を確認したのち、ようやく筑後川を渡ると、すぐに高良山を支配。翌年には山鹿まで進軍しています。

これを最後に南朝方の勢力は衰退していくこととなります。つまり、高良山は九州南朝の命運を握る山だったのです。高良山の山頂にある毘沙門岳(別所城)は、懐良親王が在城したとされる城で、空堀や土塁などの遺構が残っています。その直下にある高良大社奥の院には湧水があります。この湧水には、北朝方に高良山を包囲され窮地に陥った懐良親王らが、出陣に際し、この水で杯を交わしたところ、戦わずして敵が退去したという伝説があり、「勝ち水」と呼ばれています。

「はい!こちら菊池市消費生活センターです!」 83

【問い合わせ先】菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450 (月)〜(金)午前10時〜正午、午後1時〜4時(福祉課)

高年齢者への「つけ込み型勧誘」商法に注意しましょう!

高年齢者は「お金」「健康」「孤独」の三大不安を抱えているといわれ、悪質業者はこれらにつけ込んで勧誘してきます。例えば: ●お金や健康の不安 「必ずもつかる」「病気が治る」といって金融商品や高額な健康食品を契約させます。

●孤独の不安

1人暮らしの場合、優しい言葉で語りかける販売員を親切な人だと感じ、家に招き入れる傾向にあり、販売や過量販売の被害に遭ってしまいます。

また、高齢や病気が原因で判断能力が不十分な人は、次のような特徴を持ちます。

●被害にあったことに気づかない 不要な契約であると判断が難しく、トラブルに巻き込まれていることに気付かず、生活資金まで奪い取られたり、複数のトラブルに遭ったりします。

自分が悪い」と自らを責め、他人や家族に迷惑をかけたために、誰にも相談せずに隠すケースが目立ちます。 気軽に相談できない高齢者は、被害が表面に出ず、周囲が被害に気付くことが遅れて、救済が困難になる傾向があります。 判断能力が不十分な人の被害の予防や解決には、地域での見守り活動や家族の協力が重要になってきます。1人暮らしの高齢者の日常の些細な変化に気付き、声掛けや福祉関係者と連携して、相談窓口につないでいくことが重要です。 自ら消費者被害に遭わないためにも、自宅玄関は常に鍵をかけ、訪問販売業者を家の中に入れないようにし、電話勧誘に対しては、固定電話を常に留守番設定にして電話に出ないといった対策を心掛けてください。 契約した場合でも、契約書を受領してから8日間はクーリング・オフ制度で解約できる可能性もあります。すぐに消費生活センターに相談してください。

特報 発掘調査の今と未来

【問い合わせ先】生涯学習課 ☎0968(25)7232

◆菊池氏遺跡が 国指定史跡に答申!

10月20日に開催された文化審議会は、文部科学大臣に対して、市の菊池氏遺跡を新規に史跡名勝天然記念物に指定することを答申しました。今後の官報告示をもって、国史跡指定が正式に決定します。

菊池氏は菊池を本拠地として、中世肥後国で活躍した武士団です。蒙古襲来時や南北朝動乱期における活躍は「蒙古襲来絵詞」や「太平記」にも語られています。

菊池氏遺跡は、菊池氏が最初に居を構えたといわれる北宮館跡(菊之城跡)と、河川の護岸施設



菊池氏遺跡周辺



菊池氏遺跡で見つかった石組遺構

が見つかった菊之池B遺跡、北宮阿蘇神社から成ります。菊池氏の中世の館周辺の具体像を示す遺跡群であり、中世武士団の領域経営の在り方を知ることができる貴重な遺跡であることが評価されました。 また、菊池氏はその後、本拠地を深川・北宮地区から隈府周辺に移したと考えられ、肥後国最有力武士団から肥後国守護へと成長する過程を示すことも評価されました。 菊池市における国指定史跡は鞠智城跡に次いで2件目です。今後は遺跡を大事に保存するとともに、活用を図っていきたいと考えています。

◆絵画連作◆ 幻の都 城下町菊池

絵・文／橋本以蔵

第二章 菊池十八外城 ～菊池本城を守る砦～



【場所】七城町蘇崎 菊池川と迫間川、内田川という菊池の主要河川が合流する近く、川を挟んで反対側に台城のある地点に打越城は築かれていました。山鹿方面に備えた林原氏累代の城だそうで、今川了俊が菊池に攻めてきた時、板井原合戦の舞台となり、攻め落とされました。

8月号「大刀洗町」の紹介(本文4行目)に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

少弐頼尚